

資質・能力の育成のために重視すべき学習過程等の例(たたき台)

20160114案

学習活動例(主体的な課題解決)

見通しと振り返りの例

理科における資質・能力の例

協働的な学びの例

課題把握(発見)

自然事象の把握



情報収集と分類



- 抽出した情報から共通点や相違点に気付き、問題を見いだす力

意見交換・議論

課題探究

課題・予想・仮説の設定

見通し

検証計画の立案



- 知識や情報に基づいて明確な課題や予想や仮説を設定する力(結果の予測)

意見交換・議論

観察・実験の実施



- 観察・実験の計画のために知識・技能を活用するとともに、計画を評価・選択・決定する力

意見交換・議論

結果の処理・整理



- 観察・実験の結果を処理・整理するために知識・技能を活用する力

意見交換・議論

課題解決

考察・推論・結論の導出

振り返り

表現・伝達

- 結果を分析・解釈する力
- 結果の妥当性を判断し、結論を導き出す力
- 新たな知識やモデル等を創造し、次の課題解決に向けた展開を創造する力

意見交換・議論

研究発表 相互評価

次の課題解決(問題解決)のプロセス

*なお、課題解決(問題解決)の過程は、必ずしも一方向の流れではない。また、授業では、そのプロセスの一部のみを扱ってもよい。